河川緊急減災対策事業による浸水被害の軽減

一 河川における堆積土砂撤去・樹木伐採

県では、洪水時の浸水被害軽減のため、家屋が隣接する河川に堆積した土砂の撤去や繁茂した樹木の伐採など、<mark>緊急的・集中的に実施</mark>することで、県民の安全・安心の確保に努めています。

《事例1》 茂宮川(常陸太田市)における土砂撤去事業

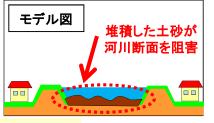
堆積した土砂約1,500mの除去により,河川断面が拡大!







モデル図



流下能力が向上 し、浸水被害の リスクを軽減!

> 繁茂した樹木が 河川断面を阻害

《事例2》 桜川 (土浦市) における樹木伐採事業



繁茂した樹木約6haの伐採により、 河川断面が拡大!







堤防背面の<u>市街地</u> 約5ha(住民約900名) の浸水被害のリスク を軽減!

((住民の声)

・大雨で川が増水するたびに、あふれてしまうのではないかと心配していましたが、今回河川敷 の樹木をきれいに伐採してもらったので不安が減ってよかったです。また景観も良くなりました。